

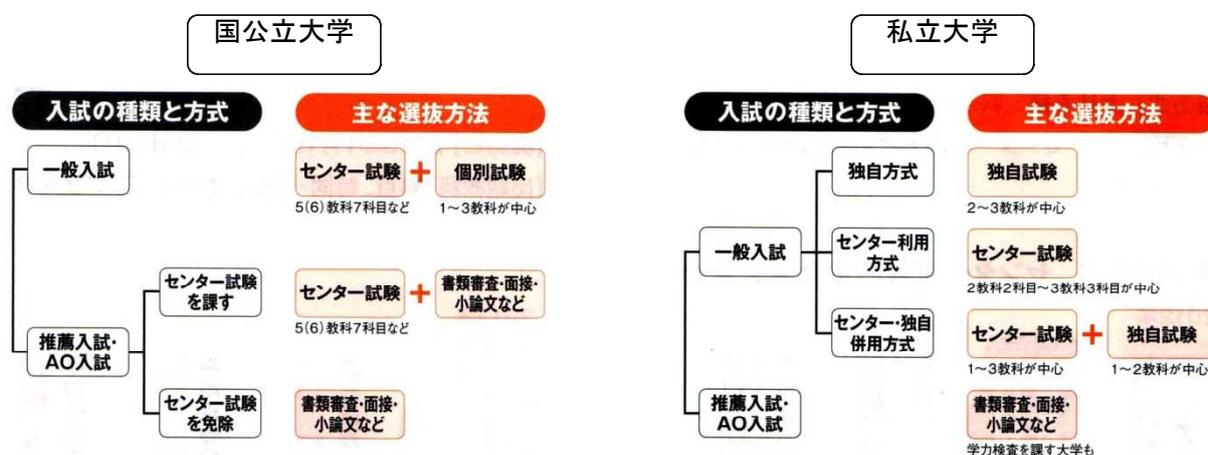


入試制度を理解する！

新年度最初の定期考査が終了しましたが、納得のいく結果を出せたでしょうか。思うようにいかなかった人は、原因を探り、この機会に毎日の授業と家庭学習の大切さを認識してください。期末考査もすぐにやってきます。

『敵を知り、己を知れば百戦危うからず』という言葉があります。皆さんの受ける大学入試には大きく分けて3つの種類があります。あなたは、その内容を理解しているでしょうか？志望校の入試制度を知ることが大切なことです。1, 2年生も「まだ先のこと」などと思わずに、しっかり理解しましょう。

大学入試の種類は3種類。『一般入試』『推薦入試』『AO入試』がある



1. 一般入試

■国公立大学

- 国公立大学の一般入試は原則『センター試験+個別試験』で合否判定。定員の8割を一般入試で募集。
- ◎一般入試日程は基本的に前期・公立大中期・後期。したがって出願できる大学数に制限がある(2~3校)。
- ◎前期日程で合格して入学手続きを行うと、中期日程、後期日程の合格の権利を失う。また、前期日程と後期日程の募集人員の割合は8:2と圧倒的に前期日程の割合が高い。このため第一志望は前期日程で受けるのが基本である。大学が後期試験を実施しない傾向もあるので、確認が必要。
- ◎センター試験は5(6)教科7科目を課す大学が多く、幅広い(多教科)学習が必要。
- ◎文科系学部を中心に前期から小論文を課し、高配点で合否の判定資料とする動きもでてきている。本校生が多く希望する福島大学・行政政策学類では、前期・後期ともに小論文が必須であり、人間発達文化学類の人間発達専攻と文化探究(地域生活文化クラス)では前期試験が小論文のみである。

■私立大学

- ◎私立大学の一般入試は『独自』『センター利用』『センター・独自併用』の3方式で実施。
- ◎受験日程が重ならなければ、何校でも受験が可能（推薦・AO入試で専願の場合を除く）。
- ◎同じ大学でも受験日程に問題が無ければ、かなりの数の学部・学科を受験できる。例えば7つ位でも。
- ◎一般入試は2～3教科が中心。一般的に幅広い教科から選択が可能であり、難関私立大学を中心に国公立志望者の併願先となりやすい。『センター利用』はセンターの得点だけで合否が決まる。

2. 推薦入試

どうしても行きたい大学ならば、受験機会が増えることになるので推薦入試も考えた方がよい。

■公募推薦

- ◎国公立大学の推薦は公募制推薦だけである。
- ◎大学・短大の示した推薦基準を満たしていれば、何人でも出願できる。
- ◎要求される評定平均値が高い場合が多く、志願理由書などの提出書類も多い。
- ◎国公立大学の場合、センター試験を『課す』型と『課さない』型がある。また、小論文や口頭試問を含む面接・学科試験など、一般入試以上に厳しい場合がある。

■指定校推薦

- ◎各大学、短大などが高校からの進学実績などを考慮して、本校への推薦入学枠を提示する。ただし、**前の年に指定校だったからといって、翌年も指定校であるとは限らない。**
- ◎試験は『書類審査』『小論文』『面接』が基本である。
いずれの場合も高校に推薦願いを提出し、その後の『校内選考会議』によって承認されることで学校長推薦が決定され出願となる。つまり、西高生として推薦されるにふさわしい生徒であることが大切である。

3. AO入試

- ◎大学の『アドミッションポリシー』（求める学生像）や、志望学科への適性が見られる。
- ◎国公立大学の場合、センター試験の成績を1次選考で利用する大学もある。
- ◎センター試験を課さない場合でも、教科に関する口頭試問などが行われることが多く、教科学習の必要性が高い。夏休み期間中もそのために多くの時間を費やすので、不合格になった場合の一般試験へ向けての取り組みが遅れることがある。
- ◎AO入試の申し込み（エントリー）は1学期中に始まる場所があるので、早い日程での検討が必要である。AO入試は、あくまで自分の力で受けるものだと自覚すること。
- ◎学校の学習内容を知る上でも、オープンキャンパスや学校説明会への参加は必須である。

3年生は部活動を引退し、本格的に受験対策に取り組む時期になりました。しっかり学習して基礎力をつけるとともに、将来をよく考えて進路を選択してください。特に3年生では、「部活ロス」という、部活動が終わると何も手につかない人が例年見られます。少しでも早く**気持ちを切り替えて**、受験勉強に取りかかることです。部活動で身に付けた集中力を今こそ生かして受験を乗り切りましょう。

2年生も来年のこの時期には志望校決定→合格に向けて頑張っていることでしょう。よく言われるのは、『ローマは一日にして成らず』という言葉、『継続は力なり』という言葉もあります。

受験はどんなに勉強が大変でも、毎日勉強を続けることでしか乗り越えることはできません。We shall overcome. 自分を信じて、進路実現のために日々の取り組みを大切にしていきたいものです。